

令和4年度保健師職能だより

【発行日】令和5年3月
【発行責任者】公益社団法人島根県看護協会 会長 秦美恵子
【編集】保健師職能委員会

保健師職能委員長あいさつ

保健師職能委員長 藤谷明子

令和4年度の活動方針は、1)保健師の専門性を活かし、各分野において、全世代の地域包括ケアを推進する。2)会員の拡大を図る。この2点を掲げ、活動目標は、1)保健師・助産師・看護師の連携、多機関で働く保健師間の連携強化、2)保健師職能の専門性を追求する（スキルアップ、課題の明確化）を掲げて取り組んできました。

島根県看護協会の保健師の入会状況を見ると、企業で働いている保健師の入会が少ないこと、圏域により入会率の差がある状況です。保健師は多機関で働いており、多機関で働く保健師のネットワークを強化することを目指して、今年度は、「働き盛り世代の健康づくり」をテーマに交流会、研修会を企画しました。また、看護職間の顔の見える関係を深めるために保健師・助産師合同研修会では「母親の育児不安への支援」、保健師・助産師・看護師合同研修会では「新型コロナウイルス感染症対策への対応」をテーマに取り組みました。新型コロナウイルス感染症による様々な業務が多忙化している中でしたが、すべての研修を実施でき、多くの保健師や学生の参加を得ることができました。

新型コロナウイルス感染症により、保健師には感染症業務への期待が大きくなり、多くの保健師が従事し仲間も増えています。しかし、「保健師の役割は何か」が見えにくく悩む保健師も多くいます。新型コロナウイルス感染症業務に忙殺されている中でも、少子化・高齢化による総人口の減少、独居世帯の増加、多様な働き方の広まり等の社会背景により、健康課題も一層複雑化し、社会に即応した保健活動が求められています。今後、保健師職能では、様々な動きを直視し、保健師専門職として「今、何をすべきか」を仲間と一緒に考え、各職場における取組みに繋がるように「楽しく。繋がる。ためになる。」を合い言葉に活動していきたいと思えます。



誘い合って入会しましょう

保健師の会員の現状（R4.12現在）

支部	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	合計
会員数(人)	110	39	34	18	22	29	19	271
就業者数(人)	177	60	91	60	61	61	27	536
入会率(%)	62.1	65.0	37.4	30.0	36.1	48.3	70.4	50.6

令和4年度保健師職能委員の紹介

堀江亜由美（松江保健所）、藤原敬子（奥出雲町役場）

仲佐菜生子（島根産業保健総合支援センター）、竹原千春（大田市役所）

藤原美実（松江生協病院）、伊藤智子（島根大学医学部看護学科）

保健師職能交流会

令和4年6月18日(土) 14:00~16:00、ビッグハート出雲(茶のスタジオ)において保健師職能交流集会を開催しました。

健康状態や社会的背景を問わず、全ての人々に対して切れ目のない支援を提供するために、行政・病院・企業・教育機関等の様々な機関で活躍している保健師が、各機関で働く保健師の役割等の理解を深め、連携していくことを目的に開催しました。学生の参加もあり定員30名を超える38名(学生12名含む)の参加がありました。

【講演】 県看護協会副会長 永江尚美氏

「多様で複雑な健康課題に対応する保健師に求められているもの～2040年を見据えた保健師活動への対応～」

高齢者人口の増加と現役世代が急減する2040年を見据えた国の動き、保健師に求められることについて確認することができました。



講師:永江尚美氏

【活動報告】

雲南市立病院 内田由美子氏から「病院保健師の活動」、山陰合同銀行 石田順子氏から「企業保健師の活動」について紹介していただきました。

病院や企業で働く保健師の活動を知ることができ、保健師としての思いが共有できたり、「地域」「病院」「企業」どこで活動していても基本的な考え方は一緒であることや予防的視点を大切にしていることを確認できました。



活動報告:内田由美子氏

【意見交換】

他部署の人の意見を聞くことができ、連携の重要性を認識したとの感想がありました。今後連携していくよいきっかけとなりました。

今回の交流集会では、国の動向を押えた上で、様々な部署で働く保健師同士で連携して健康課題等に取り組んでいくことを確認できました。



活動報告:石田順子氏



保健師職能研修会

令和4年11月27日(日)13:00~15:45、出雲市民会館で「地域と職域の連携による働き盛り世代の健康づくりの推進」をテーマに保健師職能研修会を実施しました。参加者は、27名(学生8名含む)で企業、病院、教育機関、行政など様々な機関からの参加がありました。

高齢県である島根県において、健康寿命延伸への取り組みは重要です。中でも、働き盛り世代の健康づくりの充実が最重要課題であり、地域においても職域においても連携が必要との認識はありますが、その実際は不十分です。職域の健康実態や先駆的な地域・職域連携の取り組みについて学び、相互に連携を図りながら協力して働きざかり世代の健康づくりの推進を図ることを目的として本研修を開催しました。

【行政説明】 【基調講演】

行政説明として、島根県健康推進課 規家美咲氏から「島根県の壮年期対策の歴史、島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会の活動」について説明があり、その中から分かってきた健康課題、課題解決のための取り組みについて説明がありました。

基調講演として、島根県労働局 労働基準部 健康安全課長 鈴木一聡氏から、「労働衛生の歴史労働災害の現状、仕事と治療の両立支援」等についてお話がありました。



講師: 鈴木一聡氏

【活動報告】

活動報告として、①江津市健康医療対策課長の坂越順子氏から、健康づくり推進協議会の専門部会として江津市職域保健部会を設置し、積極的に職域の健康づくり活動をしている報告がありました。②産業保健の立場から、島根産業保健総合支援センター保健師の仲佐菜生子氏から、さんぽセンターの活動紹介として、事業所のメンタルヘルス対策支援や不妊治療と仕事の両立支援に関する相談などの紹介がありました。また、③健康経営優良法人として認定されている、まるなか建設株式会社の管理部次長の西村悟氏から、長時間労働対策、メンタルヘルス対策の紹介がありました。



活動報告: 西村悟氏

【研修会を終えて】

講師の皆様は非常に熱心にお話をさせていただき充実した研修となりました。参加者からは「今まで聞いたことがない話で、もっと詳しく聞きたかった」という感想がありました。また、学生からは、「働き盛り世代の健康を支えることの重要性を学んだ」「進路選択に生かしたい」という感想がありました。アンケートによる参加者の評価は全員が「大変有意義」「有意義」という回答でした。

今回の研修会は、様々な職域で働く保健師が連携する大切さを共有でき、有意義な会でした。今後も、保健師の顔の見える関係づくりを深め、地域の健康課題の共有を図り、地域特性に応じた地域包括ケアの推進と今の時代に求められる保健師の資質の向上を目指した研修会を継続的に実施していきたいと思っております。

保健師・助産師職能合同研修会

令和4年8月28日(日)13:00~15:45、出雲市の朱鷺会館で昨年に引き続き保健師助産師合同研修会を開催しました。今回は「母親の育児不安やメンタルヘルスの支援」を焦点に、現状と課題を掘り下げて共有し、今後の体制づくりを検討することを目的に開催しました。

参加者は保健師11名、助産師19名、看護師2名、学生2名の計34名で、行政機関、病院、開業、診療所からと幅広く参加がありました。

【基調講演】

「母と子をめぐる最近の話題」と題して、島根大学医学部産婦人科教室 皆本敏子氏より、医師の立場から、母子に関する様々な要因についての情報収集のポイントやアセスメント、プラン作成、多職種連携による支援について等、分かり易くお話しいただきました。

【活動報告】

活動報告は、①助産師の立場から、マザリー産科婦人科医院 高見幸絵氏、②市町村の保健師の立場から、浜田市子ども・子育て支援課 山本麻里氏、③県の保健師の立場から、島根中央児童相談所 細田舞氏にお話しいただきました。

講演・活動報告では具体的な事例を交えた内容が多く、参加者自身が考えながら参加することができました。また、虐待の状況や支援、地域の支援内容等、普段の業務では知りえない内容を学ぶことができたといった感想もありました。

フロアディスカッションでは、活動報告に対し積極的な発言があり有意義でしたが、参加者からはグループワークを希望する声もありました。

参加者からは、「地域と病院との連携のため声掛けをしたい」「他院や多職種の役割を理解することができた」「多職種の活動を知り、今後の課題が明らかになった」「母子だけでなく周りの環境への重要性を学んだ」など、明日からの行動につながる感想や、今後の合同研修の継続を希望する声が多くありました。今後も合同研修を継続し、母子支援のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進に向けて、保健師・助産師間で連携を深めていきたいと思えます。



講師: 皆本敏子氏



活動報告: 高見幸絵氏



活動報告: 山本麻里氏



活動報告: 細田舞氏



保健師・助産師・看護師職能 合同研修会

令和4年9月3日(土)13:00~15:45、出雲市の朱鷺会館で保健師・助産師・看護師合同研修会を「新型コロナウイルス感染症の取組みと課題」をテーマに開催し、3職能から43名の参加がありました。

【基調講演】

基調講演では、浜田保健所 所長 村下伯氏から「浜田保健所管内の新型コロナウイルス感染症対策から見えてきた課題と看護職への期待」と題して、オミクロンBA.5による新型コロナ感染の現状、感染拡大により対応方針を変更した経過や自宅療養者を支える仕組み、新型コロナウイルス感染症対策から見えてきた課題などを分かり易くお話していただきました。

最後に、看護協会の強みを活かし連携した活動への期待など第一線で働く看護職への熱いメッセージを聞くことができました。



講師：村下伯氏

【活動報告】

各職能からの活動報告では、①保健師としての取組については、島根県 健康推進課 岩野真保氏、②助産師の立場からは、松江赤十字病院 米田桂子氏、③看護師の立場からは、大賀香織氏、④訪問看護ステーションの立場から、訪問看護ステーションいずも 福場衣里子氏からそれぞれの立場での活動状況や課題について発表をいただきました。

【参加者の意見】

今回の研修テーマは、全職能に関わるタイムリーなテーマであり、参加者の多くがテーマに興味を持ち、他職種や他施設の活動を聴くことで学びとなり自施設での課題解決に向けてのヒントにもなりました。研修を通じて、看護職間の連携はもとより、多職種連携、横のつながり、情報共有の大切さを再認識し今後の活動に大いに役立つと好評な研修でした。



活動発表者との意見交換の様子



看護協会の会員になり一緒に活動しましょう

保健師は行政で働く者が多く、県・市町村とのつながりもあり、人材育成に関する研修等も特に島根県は手厚く用意されており、特に若い保健師からは「看護協会へ入るメリットが分からない」、「上司が入っていないので私も入らない」、「会費等が高い」、「育休に入るまでは入っていたが、一度やめるとまた入会金から必要で支出が多い」などの理由で若い人の入会が少なかったり、中堅期でやめたら再入会が少ないなどの現状があり、就業保健師数は増えているにもかかわらず入会者は横ばいから減少傾向にあります。

島根地方創生計画では、住み慣れた地域で、誰もが安心して生活できる島根づくりが推進されています。その実現のためには、1人の保健師、1自治体のみの取り組みだけではなく、多職種・多機関等との連携がとても重要です。

そのためには、まずは保健師間（県・市町村・病院・企業・教育委機関等等）、保健師・助産師間、保健師・助産師・看護師間、そして、多職種との連携といろいろな方とのネットワークづくりが重要です。まずは看護職間の顔の見える関係づくりを一緒にしていきましょう。

●島根産業保健総合支援センター（さんぼセンター）は企業を支援する機関ですので、日頃は産業保健分野の方々とばかり関わっています。●委員として看護協会の活動に参加することは、地域保健師さんや病院保健師さんそれぞれの最新のトピックについて知る良い機会となっています。●保健師職能だけでなく、他職能との交流もあり、専門外のことについて学ぶチャンスに恵まれると感じます。●労働衛生行政の実働部隊であるさんぼセンターをご存じない看護職さんが多いと思いますので、役員の活動を通じて、当センターの役割や事業内容について少しでも知っていただければ嬉しいです。（N.N）

●保健師職能として、めざす方向性がわかる。（全国的な情勢や保健師職能の活動方針等を知ることができる）●他自治体や他機関（企業や病院など）の人との人脈ができる。●職場ではできない研修を企画することができます。●職場以外の人にも普段の悩みを相談し、アドバイスがもらえる。（H.A）

みんなの声

協会に入って良いこと
役員をして良かったこと

●職場や年代が違う仲間で自由に意見交換ができる。●会議に参加することで皆さんのそれぞれに頑張っている姿を見て、聞いて、元気になれる。●自分の業務以外の情報を生で聞くことができる。●毎回、参加するたびに、いろんな情報を知ることができ、楽しい時間を過ごせ、自分の仕事に生かせる。（T.T）

●委員の皆さんから保健行政の情勢について教えていただき、とても勉強になる。●企画した研修会では、島根県各地の保健活動の実践を学習でき、自分の仕事にも生かすことが出来る。●研修会に看護学生を誘い、先進的な活動について学ぶ場を提供できる。（I.I）

令和5年度の活動計画

誘い合ってみんなで参加しましょう

島根県看護協会保健師職能委員は、島根における「地域包括ケアシステムの推進」「会員の拡大とネットワーク化」を目標に活動を進めていきます。現場の保健師の皆様の声を聴きながら活動をしますので、多くのご参加と様々な声をお聞かせいただきたいと思います。

令和5年度の研修等事業も充実しています。是非、誘い合ってお出かけください。

保健師職能交流集会

日時：令和5年6月17日（土）

10：00～12：15

場所：ビッグハート出雲周辺

★保健師間の連携

働き盛り世代の健康づくり

保健師職能研修会

日時：令和5年7月30日（日）

13：00～16：00

場所：朱鷺会館

★乳幼児の発達と早期発見の支援

発達が気になる児への支援

3T:楽しく。繋がる。ためになる。

保健師職能研修会等に参加しよう

保健師・助産師合同 研修会

日時：令和5年8月27日（日）

13：00～16：00

場所：朱鷺会館

★母子における地域包括ケアシステムの推進～保健師・助産師の顔の見える関係づくり～

保・助・看

3職能研修会

日時：令和5年9月17日（日）

13：00～16：00

場所：朱鷺会館

★医療的ケア児への支援

保・助・看の役割